

お盆

ご先祖様が帰ってくる

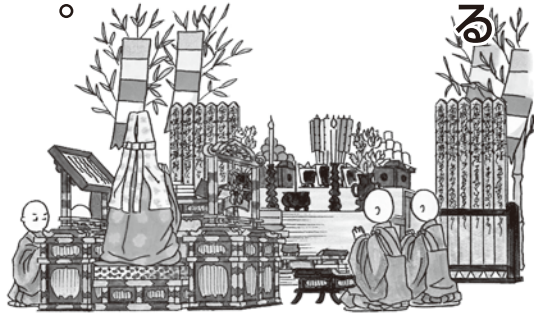
お盆には感謝の

意味を込めて

お塔婆を立てて

お題目を唱えて

供養をしましょう。



お盆は旧暦の七月十五日（八月十五日）を中心に行われる先祖供養の儀式で、先祖の霊があゝの世から現世に戻ってきて再びあゝの世に帰って行くという日本古来の信仰と仏教が結びついてできた行事です。

多くの地方では八月十三日の「迎え盆」から十六日の「送り盆」までの四日間をお盆としておりますが、地方によっては七月一杯をお盆とする地域や旧暦通り七月十五日を中心に行う地域もあります。

ご先祖様や亡くなった人たちの霊が灯りを頼りに帰ってくると言われており、先祖の魂を迎えることを目的とし、もともと日本人が持ち合わせていた「先祖を供養する心」と「自分自身が生きていくという有り難さ」をあらためて考える機会でもあります。

人それぞれの人生は、自分自身だけではなくご先祖様の人徳が影響を与えているのです。

*** 清澄寺では、7月・8月両月のお盆中、お塔婆供養を申し受けます。**

※お塔婆供養を申し込まれる方は、払込用紙に必要事項をご記入下さい。（朝勤の折ご回向致します。）

02	東京	払込取扱票		通常払込料金加入者負担	
口座記号番号				金額	千 百 十 万 千 百 十 円
0 0 1 4 0 5 5 5 0 1				※	
加入者名		清澄寺		料金	備考
※ 戒名・俗名・先祖名等		施主名(フリガナ)			
通信欄		霊			
ご依頼人		おとところ (郵便番号)			
		※ おなまえ (フリガナ)			
		様 日 附 印			
		(電話番号 - -)			

裏面の注意事項をお読み下さい。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第26475号)
これより下部には何も記入しないで下さい。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 1 4 0 5				通常払込料金加入者負担
	5 5 5 0 1				
加入者名	清澄寺				
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	※			
ご依頼人	おなまえ				
料 金	日 附 印				
備考					

この受領証は、大切に保管して下さい。

ファックスまたは封書で申込書を送られた方は、払込用紙に詳しく記入する必要があります。通信欄に「送付済」とお書き下さい。ご依頼人住所・氏名欄は、正確にお書き下さい。 ※御塔婆は一霊につき、三、〇〇〇円以上。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載して下さい。

切り取らないうちにお出ください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所を訂正印を押して下さい。

〔ファックス送信及び封書申込み用紙〕

ご送金は振替用紙をご利用下さい。

大本山 清澄寺

〒二九九一五五〇五

千葉県鴨川市清澄三二二一ー一
電話〇四一七〇九四一〇五二五番

FAX〇四一七〇九四一〇五二七番

〒		—	
TEL ()		—	
お名前		ご住所	
フリガナ		都府 道県	
		区市郡	
			村町

合計 本 円也
回向料志納 円也 右申し込み。

◎お塔婆は、一霊金三、〇〇〇円以上となります。

7月・8月両月 盆中供養			
霊	霊	霊	戒名・俗名・先祖名等
フリガナ	フリガナ	フリガナ	家先祖代々の霊
			施主名

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書をゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換に預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記

収入印紙
課税相当額以上
貼付
印

この場所には、何も記載しないでください。